

おむすび通心

第19号
2025年 冬

皆さん、こんにちは！

私たち焼津市の認知症地域支援推進員です。短い秋を挟み、あつという間に季節は冬。毎日寒い寒いと外に出かけるのをためらってしまふ今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。皆さまが元気で笑って暮らせるよう推進員活動を頑張っていきたいと思います！

本年もどうぞよろしくお願ひします！

さて、1月には、小規模保育連合会と一緒に市内公園の清掃活動が行われたり、清流館高校主催のDカフェ、静岡福祉大学主催の認知症の方への声掛け訓練が開催され、12月は認知症市民啓発講演会が開催されるなど、市内でさまざまな取組が展開されました。また、焼津市立総合病院を会場にして、好評いただいていた認知症本人ミーティングが、1月から焼津市医師会館に会場を移しています。

今回のおむすび通心では、そんな活動を皆さんに紹介していきます。

ぜひ、最後までご覧ください！

「認知症×演劇」

～演劇から認知症について知ろう！学ぼう！～

12月6日(土)、ウェルシップやいづで認知症市民啓発講演会が開催されました。

今年度のテーマは「認知症×演劇」。講師は介護従事者で俳優でもある『With D』の皆さん。

笑いあり、涙ありの演劇の中にも、認知症の症状や対応方法など、ご自身の体験に基づいたお話を織り交ぜながらの解説で、楽しみながら認知症の理解を深められる講演会となりました。

後半は認知症ご本人による講話があり、昨年も登壇していただいた内山さんから、①認知症は誰でもなる。②認知症になつても普通に生活できる。③心配になつたら、すぐに受診してほしい。④認知症の診断を受けた方が周りにいたら、

認知症×演劇

～演劇から認知症について知ろう！学ぼう！～



話を聞いてあげてほしいなどのお話をいただきました。

講演会終了後には、認知症VR体験会も開催されました。

「認知症の人が見ている世界」を体験した方からは、「こんなにはつきりと幻視が見えると思わなかつた」など

の声も聞かれ、中には何度も体験される方もいらっしゃいました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



▲「認知症VR体験会



▲「With D」による演劇



▲認知症ご本人からの講話



保育園児たちと公園清掃

11月11日(火)、市内公園7か所で、公園近くの介護施設の利用者と保育園児が力を合わせて清掃活動を行いました。



「普段お散歩などで使っている公園を自分たちの手で綺麗にしよう！」という取組を行っています。昨年度より、市内介護施設の利用者様や市内在住の方も、最寄りの公園で、交流を楽しみながら清掃活動を行うようになりました。小さなお子さんを前にすると、普段口数の少ない方も自分から園児に話しかけたり、「足が痛い」と訴える方も、膝を曲げて園児の目線で話をしたりと、皆さん眠っていたパワーが呼び起こされているようで、活き活きした顔が印象的でした。

清流館高校D・カフェ スタバハ楠店



11月10日(月)、清流館高校3年生がスター

バックスハ楠店でD・カ

フェを開催し、当事者とそのご家族6組の方々が参加されました。

生徒達がレジのフォローや席までの案内を上手に行ってくれ、皆さんゆつたりとコーヒーの時間を楽しむことが出来ました。お互いのことを話したり、ご家族との時間を楽しんでもらつたりと、会場は終始和やかな雰囲気でした。

当事者さんと交流ができるこのD・カフェは、生徒の皆さんにとつても貴重な時間になりました。



認知症の方への 声掛け訓練

11月9日(日)、静岡福祉大学の主催で認知症の方への声掛け訓練が行われました。駅前通り商店街、昭和通り商店街、神武通り商店街を舞台に、キャラバン・メイトがふんするお年寄り役を探す、声をかける、実践ながらの訓練となりました。当日はあいにくの天気となってしましましたが、認知症サポート養成講座でも学んだ「優しい声の掛け方」を、実際に試す良い機会となりました。

【発行】

焼津市地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター（北部・中部・南部・大井川）

第19号編集／北部